提出書類6 電力データの疎通確認方法が分かる資料(申請:第1号様式分)

CB-H**T△△A1ではパワーコンディショナ内部に搭載している通信モジュールが機器運転情報を取得し、田淵電機株式会社さまのクラウドサーバに電送します。

CB-H**T△△A1は、インターネット接続されたすべての機器がデータ送信する仕様です。

データの疎通確認は施工会社がスマートフォンを使って初期設定する際に確認できます。 スマートフォン画面のスクリーンショット(図 1)を確認いただくこととなります。

- ① Service Tool(ブラウザ画面)にて PCS 情報を表示させると、設置しているパワーコンディショナの機種名と製造番号を確認すること。
- ② 通信テストを実施し、テスト結果が「通信 OK」になっていること。 によって行うことができます。



図1:Service Tool画面

・取得データログ(抜粋)

・データ内容(抜粋)

key	説明
info	接続情報
monitor	通信モジュール情報
id	通信モジュール製造番号
$powcon[]$ $(0\sim4)$	パワーコンディショナ情報
type	パワーコンディショナ機種
product	パワーコンディショナの製造番号
battery[] (0~2)	蓄電池情報
product	蓄電池の製造番号
data	
htime	データ日時
gen_data[] (0~4)	発電データ
gen_wh	発電電力量
gen_kwh	積算電力量
gen_mode	運転モード
use_wh	消費電力量
sell_wh	売電電力量
buy_wh	買電電力量
use_kwh	消費積算電力量
sell_kwh	売積算電電力量
buy_kwh	買電積算電力量
battery_data	蓄電池の代表データ
soc	蓄電池残量
soh	容量劣化率
bi_wh	充電電力量
bo_wh	放電電力量
bi_kwh	積算充電電力量
bo_kwh	積算放電電力量